

育成モノづくり人材

Vol. 64

長崎県立長崎工業高校

路面電車が走る長崎「つかめ」。卒業生には市中部近くに、創立80年を迎えた長崎県立長崎工業高校がある。校訓は「技術の真髄を



三好校長

「タフネス長工」。「タフネス長工」。

取得を目指す

ため、各学科に必要な

【DATA】▷校長=三好展弘氏
▷所在地=長崎市▷学科=機械科、工業化学科、電気科、電子工学科、機械システム科、情報技術科、インテリア科、建築科▷総定員=960人▷主要設備=回流水槽設備、レーザー加工機、3DCAD、マシニングセンター、NC工作機械▷主な進路=トヨタ自動車、デンソー、九州電力、西部ガス、亀山電機、協和機電工業、長崎大学など

や塗装などの作業も体験する。卒業生にも手厚い支援がある。2年前に開設した、県内企業と卒業生の就職マッチング

多様な進路、卒業後も支援

校が目標に掲げる「資格取得を促進する」。

業体験制度を始めた。サイトは全国でも珍しい取り組み。同校ホームページから企業とOBがそれぞれ情報を登録し、条件に合えば更。OBが勤めるアルミ関連メーカーなど3社程度を回る。見学だ介護問題などに直面する50歳まで」と登録可

能な年齢の幅は広い。これまで5件程度の就職に結びついた。全国共通の課題である県内就職の促進でも良い結果が出ている。16年度県内就職率は2

「人間としての資質を持った技術者となり、日本企業を支える人材になってほしい」と、心技体がタフな生徒育成に取り組む。



海外インターンシップではOBが勤めるアルミ関連メーカーなどを訪問する

奏功した。

県内企業に内定した生徒の一部は内定先で入社前の実践的職業訓練を実施する。企業は採用した生徒と早い段階でコミュニケーションが取れるため、受け入れ企業が増えているという。三好校長は

(西部・増重直樹) (金曜日に掲載)